

江戸の服飾意匠

—文芸、芸術、芸能との交流と近代への波及

大久保尚子（宮城学院女子大学教授） 著

本体価格二五、〇〇〇円

B5判上製函入 本文五二二頁 カラー口絵四頁 挿図二五五点

ISBN 978-4-8055-0732-2 C3072

服飾表現は、造形としての服飾と、装うという行為が一体となって完成する。今日のように意匠の創案が専門家（デザイナー）のみに担われるのではなかった近世後期・江戸。文化的成熟を迎え、広汎な享受者層に支えられた豊潤な服飾文化はいかに生み出されたのか—。

本書は、同時代の文芸（洒落本、人情本）・芸能（歌舞伎）・出版文化（浮世絵、絵本）との交流の中に成立した意匠表現に着目し、服飾文化にみられる意匠の創案と享受の特質と、その近代への波及を展望する。



目次

序

第一章 人情本にみる江戸時代後期の服飾文化

―趣味人たちの芝居 書画の享受 交遊と装いの趣向

はじめに

一、芝居の趣味にかかわる趣向

二、書画にかかわる趣向

結び

第一部

第二章 江戸時代後期の服飾にみる絵画的意匠の性格

―「写真」への指向と出版文化

はじめに

一、現存する染織作品にみる絵画的意匠の展開

二、絵画を装う―文学作品にみる著名絵師による描線の趣向

三、人情本にみる絵画的意匠の性格

―絵師たちの多様な関与のかたちと「写真」への指向

四、「写真」への指向と出版文化

結び

第三章 江戸時代後期の浮世絵師の画業と花鳥画風意匠の展開

―美人画、絵本、絵手本と絵画的意匠

はじめに

一、一八世紀後期における浮世絵美人画への花鳥画風意匠登場とその背景

二、花鳥画風意匠参考書としての絵本、絵手本

三、一九世紀前期にみる浮世絵花鳥画享受の広がりとは浮世絵師による

花鳥画風意匠の展開―美人画、絵手本と意匠

結び

第二部

第四章 山東京伝作『小紋裁』『小紋雅話』『小紋新法』の検討

―見立染織意匠としての特質

はじめに

一、意匠構成の趣向

二、題材の世界

結び―京伝見立小紋の特質

第五章 京伝作見立小紋と江戸の意匠

―戯作、浮世絵の世界からの広がり

はじめに

一、京伝作見立小紋の同時代における位置付け



第三部

第六章 錦絵揃物「東京自慢名物会」「見立模様」の性格

―江戸文化の継承と明治の新風

はじめに

一、作品成立の背景と見物連中

二、明治期劇界周辺にみる見立趣向の系譜と「見立模様」

―作者梅素薫、六二連手拭合など

三、「見立模様」にみる「江戸」と「東京」の交差

結び

第七章 明治期図案界にみる見立表現の系譜

―江戸と西洋近代との出会い

はじめに

一、戯作から図案へ―京伝作見立小紋に対する視線の変化

二、明治の美術家たちの見立意匠への関心

―久保田米俣、神坂雪佳、浅井忠

三、明治後期の染織図案集にみる見立表現の展開

結び

結

服飾、染織関係用語集

初出一覧／参考文献一覧／図版出典一覧／あとがき／

英文梗概／資料索引／人名索引／事項索引

著者略歴

大久保尚子（おおくぼ・なおこ）

お茶の水女子大学家政学部、同大学院家政学研究所（修士課程）、同大学院人間文化研究科比較文化学専攻（博士後期課程）にて、日本服飾史、服飾美学を学ぶ。二〇一四年三月お茶の水女子大学大学院にて学位取得。博士（人文科学）。現在、宮城学院女子大学学芸学部生活文化デザイン学科教授。

本書をお薦めする方々

服飾史、染織史、近世文芸（洒落本・人情本・合巻・誹諧・狂歌）、芸能（歌舞伎）、出版文化（浮世絵・絵本・絵手本・小袖雛形本）、近代デザインを対象とする研究者・研究室、学芸員、大学・公共図書館など

関連書籍

中近世染織品の基礎的研究

山川 曉（京都国立博物館学芸部教育室長）著

本体価格 13,000 円

A5 判上製函入 本文 304 頁 図版 170 点 ISBN 978-4-8055-0733-9 C3072

雁金屋御画帳の研究

小西家伝来尾形光琳関係資料にみる小袖文様

塚本 瑞代 著

本体価格 33,000 円

B4 判上製函入 本文 260 頁 口絵 176 頁 ISBN 978-4-8055-0664-6 C3072

中央公論美術出版

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-8-7

電話 03-3561-5993 FAX 03-3561-5834

お取り扱い

※価格は全て税別